

「付加価値・企業価値の見える化高度化事業」の概要 ~ 中小企業のレジリエンス（逆境力）を後押しする経営支援 ~

事業の内容

1. 事業の目的

- ・中小企業は、長年続いたデフレ経済（より良いものをより安くが「価値」の時代）、**成功体験からの脱却**が重要となります。自身が製造する製品・販売する商品・提供するサービス等の**適正価格への転換**（付加価値の見える化、高度化）を後押しします。
- ・ゼロゼロ融資という予期せぬ借入により過剰債務に陥っている中小企業の人材、技術、技能、知的財産、顧客との信頼関係といった**無形資産**を**見える化**し、事業継続マインドを後押しします。

2. 成果目標

- ・その道のプロ（専門家）派遣事業等の活用により製品・商品・サービスの価値向上を図ります。
- ・経営デザインシート、ローカルベンチマーク等の活用により財務諸表に表れない、数値化しにくい知的資産の見える化に取り組みます。

(1) 付加価値の見える化・高度化における目標

- ・その道のプロ（専門家）派遣事業の活用による適正価格への転換

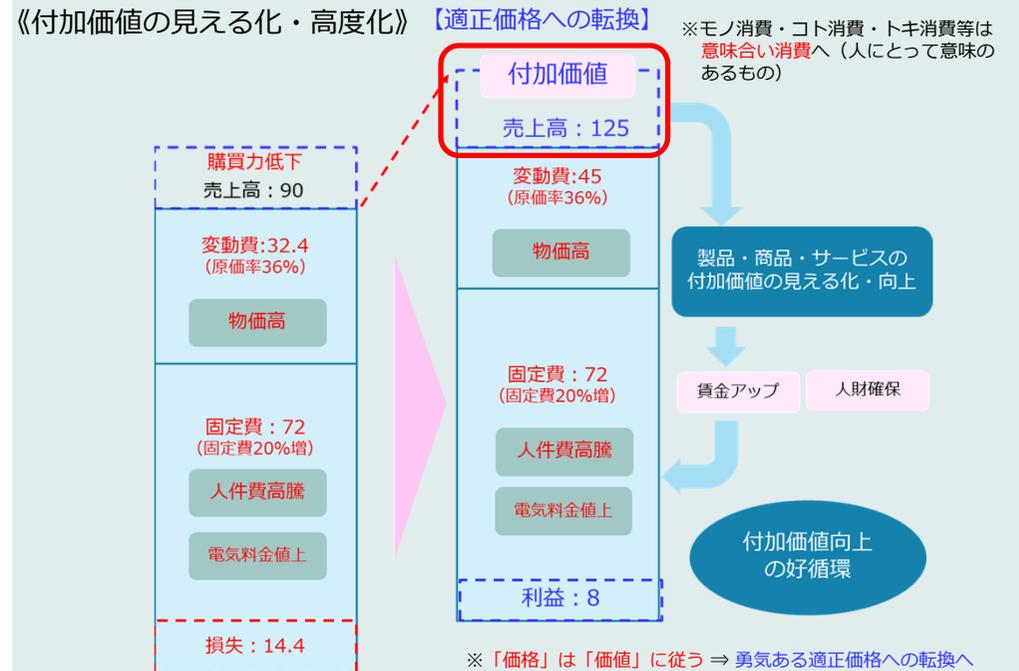
(2) 企業価値の見える化における目標

- ・経営デザインシート、ローカルベンチマーク等の活用による知的資産評価

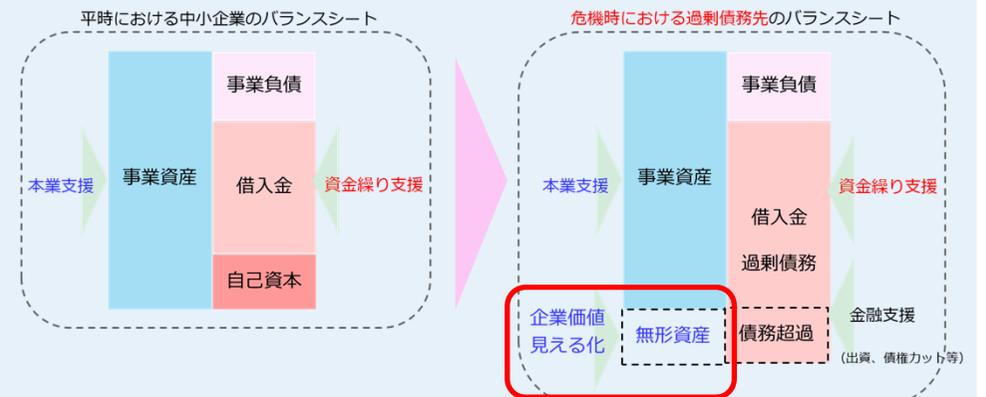
3. 事業の背景と経緯

- ・人口減少の加速化、資源価格の高騰、価値観の多様化等、中小企業の経営環境は厳しさを増しており、今後は、取引先、顧客へ提供する製品・商品・サービスの**付加価値経営への転換**、**勇気ある適正価格への転換**が重要となります。
- ・ゼロゼロ融資はコロナ発生により売上が蒸発した事業者の資金繰りを支えましたが、その後の物価高等により返済財源の確保が厳しい状況となっており、**過剰債務状態が表面化**し、**事業継続マインドの低下**が危惧されています。

事業イメージ



《企業価値の見える化》【知的資産経営への転換】



環境変化への対応

デフレ経済・
成功体験からの脱却

適正価格への転換・
無形資産の見える化

付加価値経営・
知的資産経営への転換

持続可能な経営へ